

### コラム

入職時のミスマッチを防ぐことが  
長期雇用へつながる

- ◆ 一般的な離職の傾向として、入社後3年未満での早期離職の割合は高く、その原因はミスマッチ（当初の想定と異なる）によるものと考えられる。このことは福祉業界も例外ではなく、「思ったより大変」・「自分に合わない」などを理由に、福祉系学校卒やキャリア採用者であっても、早期離職に陥るケースも見られる。

## コラム

入職時のミスマッチを防ぐことが  
長期雇用へつながる

- ◆ これらを予防するために、「入社前にできるだけ職場や仕事を知ってもらう」ことは、求職者・企業の双方に効果的である。
- ◆ **企業の採用ページ**には、一般的な就業条件や応募資格だけでなく、
  - ・ 「施設の特色」
  - ・ 「職場の日常風景」
  - ・ 「シフト毎の業務内容」

などをわかりやすく掲載している企業が増えてきている。



### コラム

入職時のミスマッチを防ぐことが  
長期雇用へつながる

◆ その上で、

**面接前に「インターンシップ」や「就業体験」、「職場見学」**などを経て、「**ここであれば働けそう**」という整理ができた上で面接に臨む、というプロセスを重視している事例も見られる。

◆ **障害福祉の仕事**は、近隣分野の「医療」・「介護」・「保育」などに比べて、「**仕事内容や必要なスキルがわかりづらい**」という印象を持たれているようだ。そのようなハードルを下げて「**まずは職場を知ってもらおう**」という視点も重要である。